

ポータブルDVDプレーヤー

GH-PDV710W

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管してください。



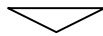
本製品は、日本国内専用に製造、販売されています。日本国外ではご使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

設置の手順

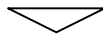
付属品を確認します。

(1ページ)



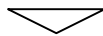
本取扱説明書に書かれている安全上のご注意、使用上のお願いをよく読みます。

(4～22ページ)



本機の電源を入れます。

(25ページ)



基本設定をします。

(26ページ)

付属品の確認

パッケージの中に下記の商品がすべて入っているかどうかご確認ください。

- GH-PDV710W 本体 (1)
- カード型リモコン (1)
- リモコン用乾電池 (1)
- 音声/映像入出力用専用ケーブル (1)
- 1年間保証書 (1)
- 取扱説明書 (本書)
- 専用 AC アダプタ (1)
- 専用バッテリーパック (1)
- 専用カーシガレットアダプタ (1)
(※12V 車専用)
- 専用キャリングバック (1)

目次

はじめに	1
設置の手順	1
付属品の確認	1
安全上のご注意	4
使用上のお願い	12
末永くお使いいただくために	12
ディスクについて	16
使用できるディスク	16
DVDに表示されるマークについて	20
リージョン番号（地域番号）	21
著作権について	21
ディスクの内容の区分	22
各部のなまえ	23
本体前面	23
リモコン	24
基本操作	25
基本操作	25
電源操作	25
再生	26
ディスクを再生する	26
再生を止める	26
メニュー画面	27
見たい場面を再生する	28
便利な再生機能	30
再生中の情報を表示する	34
音声を切り換える	34
字幕を切り換える	35
アングルを切り換える	35
ミュート/音量の調節	35

その他ファイルの再生	36
動画ファイルの再生	36
動画ファイル再生時の操作	37
音楽ファイルの再生	39
音楽ファイル再生時の操作	40
画像ファイルの表示	41
画像ファイル表示時の操作	42
本体設定	44
セットアップ画面の操作	44
その他設定	47
画面設定	47
音声/映像入出力	47
バッテリーパック	48
バッテリーパックの使用方法	48
トラブルシューティング	49
故障かな?と思ったら	49
その他	51
仕様	51
故障修理について	52

安全に正しくお使いいただくために、必ずよくお読みください

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、**△注意**に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。必ず「ご使用上の注意」を守ってください。

■絵表示の例



△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

警告 (もし異常が起こったら)



- 煙が出ていたり、変なおいや音がするときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社カスタマサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。



- 落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。



- 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源スイッチを切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社カスタマサポートにご連絡ください。

警告

電源について



- 交流100ボルト(50/60Hz)のコンセントに接続する
交流100ボルト以外を使用すると、火災・感電の原因となります。また、たこ足配線等で、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。発熱による火災の原因となります。



- 国外で使用しない
この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

警告



- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除く
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。また、電源プラグにほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。



- 電源コードの上に重いものをのせない
コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。



- 電源コードは
 - ・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない
 - ・引っ張ったり、はさんだりしない
 - ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないコードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社カスタマサポートに交換をご依頼ください。



- 12V仕様のカーシガレットアダプタで使用する
付属の専用カーシガレットアダプタは12V車専用です。
24V車では絶対に使用しないでください。
※国産車とカーシガレットアダプタの形状が異なる一部の外国車ではお使いになれません。

設置について



- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない
本機が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない
火災・感電・また故障の原因となります。

警告



水ぬれ禁止

● 水が入ったり、ぬらさないようにする

本機は屋内専用に設計されております。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

使用について



分解禁止

● 修理・改造・分解はしない

本機のキャビネットを外したり、改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社カスタマサポートにご依頼ください。



ぬれ手禁止

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



禁止

● 異物を挿入しない

ディスプレイや通風孔から、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



接触禁止

● 雷が鳴り出したら製品本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

注意

設置について



必ず行う

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



禁止

- 電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



禁止

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

- 電源コードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- 温度が高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。



禁止

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。



プラグを抜く

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

注意

●接続する機器の取扱説明書の指示に従う



注意

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

使用について

●電源を入れる前には音量を最小にする



注意

過大入力でスピーカーが破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない



禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

●本機のレーザー光源をのぞきこまない



禁止

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

●長時間音が歪んだ状態で使わない



禁止

アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

●本機に乗ったり、ぶら下がったりしない



禁止

特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

●ディスクトレイに手を入れない



注意

指をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

注意



注意

●ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



禁止

●テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。



プラグを抜く

●旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、また万一故障したとき、火災の原因となることがあります。また、ディスク保護のため、ディスクも取り出しておいてください。

注意

電池について



禁止

- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池、種類の違う電池を使用しない
電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



注意

- 極性表示(プラス(+))マイナス(-)の向き)に注意し、表示通りに入れる
間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池を取出す

- 長時間使用しない時は、電池を取り出す
- 電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない
電池から液がもれて火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、すぐきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。



禁止

- 充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れてない
電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

保守・点検について



注意

- 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください
内部にほこりがたまったら長い時間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。



プラグを抜く

- お手入れの際は安全のために、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください
感電の原因となることがあります。

末永くお使いいただくために

衝撃や振動を与えない

- 電源オン中は本機を持ち上げたり、動かしたり、たたいたりしないでください。また、ディスク再生中はディスクが高速回転しているために、ディスクを傷つける恐れがありますので特にご注意ください。

電源オン中に電源コードを絶対に抜かない

- 電源オン中に電源コードを抜いてしまうと、本機が故障したり、ディスクを破損したりする恐れがあります。本機の動作中には電源コードを抜かないでください。電源コードを抜く前には必ず電源スイッチを切ってください。また、電源オン中に設置場所のブレーカーを落としたりしないでください。

置き場所についてのご注意

- 水平で安定した場所を選んで設置してください。ぐらぐらする机や、傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
- 本機を設置する場所は、本機の重さに十分に耐えられることを確認してください。
- 本機が落下した場合にけがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような症状が発生した場合は、テレビやラジオ、ビデオからできるだけ離してください。
- 次のような場所は避けてください。
 - ・直射日光のあたる所
 - ・湿気の多い所や風通しの悪い所
 - ・極端に暑い所や寒い所、急激な温度変化のある場所
 - ・振動のある所
 - ・ほこりの多い所
 - ・油煙、蒸気、熱などがあたる所(台所など)

上にものをのせない

- 本機の上に物をのせないでください。

使わないときは電源を切っておく

- ディスプレイからディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。
- 長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
- テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビやラジオをつけると、画面にしま模様が出たり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本機の電源を切ってください。

本機を移動する場合のご注意

- 本機を移動したり梱包したりする場合は、必ずディスクを取り出し、ディスプレイを閉じてください。ディスクを内部に入れたまま移動しますと、故障の原因となります。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

再生するときの制約

- この取扱説明書は、本機の基本的な操作の仕方を説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に「無効な操作」と表示されることがあります。「無効な操作」と表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

その他のご注意

- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると、天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。

製品のお手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。
- よごれがひどい場合は、柔らかい布を水で5～6倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

美しい画面を見るための点検のおすすめ

- 本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、磨耗したりすると、画質が損なわれます。美しい画面でご覧いただくためには、使用環境(温度、湿度、ほこりなど)によって異なりますが、およそ1000時間をめどに点検・清掃されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店または弊社サポートにご相談ください。

結露について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

冬季などに本機を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴がつきます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、本機の電源コードを抜いた状態で数時間放置し、完全に乾燥するまで待ってから電源を入れてください。また、夏でも、エアコンなどの風が本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は、本機の設置場所を変えてください。

結露はこんなときにおきます。

- ・本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき
- ・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
- ・夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
- ・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

- ・結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など)に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

使用できるディスク

下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

ディスク	マーク	内容
DVD ビデオ ディスク	 	<ul style="list-style-type: none"> ・12cm／8cm ・リージョン番号が2およびALL ・映像方式:NTSC
DVD-R/RW		<ul style="list-style-type: none"> ・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
DVD+R/RW	 DVD+ReWritable	<ul style="list-style-type: none"> ・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
ビデオ CD	 	<ul style="list-style-type: none"> ・12cm／8cm ・映像方式:NTSC ・バージョン1.0／2.0
オーディオ CD		<ul style="list-style-type: none"> ・12cm／8cm
CD-R CD-RW	 	<ul style="list-style-type: none"> ・12cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。

ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

- 本機は、日本のテレビ方式(NTSC)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 市販されているDVDビデオディスクでも再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

- リージョン番号が「2」または「ALL」以外のDVDビデオ
- DVDオーディオ、DVD-ROM、DVD-RAMなど、使用できるディスクに記載のない規格のもの
- フォトCD、CD-G、CD-ROM、CD-EXTRAのデータなど

DVD±R／DVD±RWディスクの再生について

- ディスクや、データの記録状態によっては、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないDVD±R／DVD±RWディスクを再生することはできません。

CD-R／CD-RWディスクの再生について

- 本機は、オーディオCDフォーマット、ビデオCDフォーマット、またはMP3などの音楽データが記録されたCD-R／CD-RWディスクを再生することができます。ただしディスクや、データの記録状態によっては、再生できない、ノイズが出る、音が歪むなどのことが起きることがあります。

複製制限機能(コピーコントロール)のついた音楽 CD 再生について

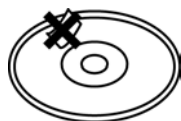
- 複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。



- ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋、ほこりなどのよごれが付くと、画像の乱れや音質低下、音とびの原因となったり、再生できなくなります。このようなときは、柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。



- よごれがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってからよごれを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。
- アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは使用できません。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

- 高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると、変形する原因となります。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクについてのご注意

- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。



- ディスクの信号面にキズやよごれを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってあることが多く、のりなどがはみ出している場合があります。ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

- 本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因となりますのでそのようなディスクはご使用にならないでください。







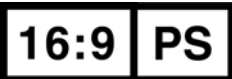


ディスクの結露について

- 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると、正常に再生ができないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

DVDに表示されるマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 (左の例は、日本語、英語などのような2種類の音声 that 収録されています。)
	記録されている字幕の数を示します。 (左の例は、日本語、英語などのような2種類の字幕が収録されています。)
	記録されている角度(マルチアングル)の数を示します。 (左の例は、3種類の角度で収録されています。)
	横:縦=4:3の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス(横:縦=4:3で上下に黒帯が入っている画面)で記録されていることを示します。
	横:縦=16:9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4:3)のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横:縦=16:9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4:3)のテレビの場合はパン&スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生されるように指定されることを示します。

リージョン番号（地域番号）



リージョン番号について

- DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号（リージョン番号）が設定されています。DVDディスクに表示されている地域番号（リージョン番号）と一致しないと再生できません。



本機の地域番号（リージョン番号）は“2”です。

本機で再生できるDVDディスクのリージョン番号について

- DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョンマークの中に  のように2が含まれているか、または  が表示されていないと、本機では再生できません。



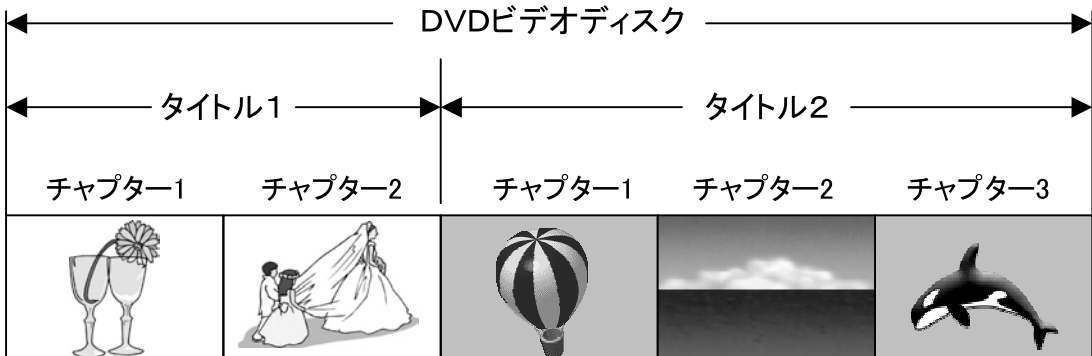
著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。
- 本製品は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術（マクロビジョン方式）を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっていきます。また、本製品を分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSは、デジタル・シアター・システムズ社の登録商標です。

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。



ビデオCD／オーディオCDは、「トラック」で区切られています。



タイトル :DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

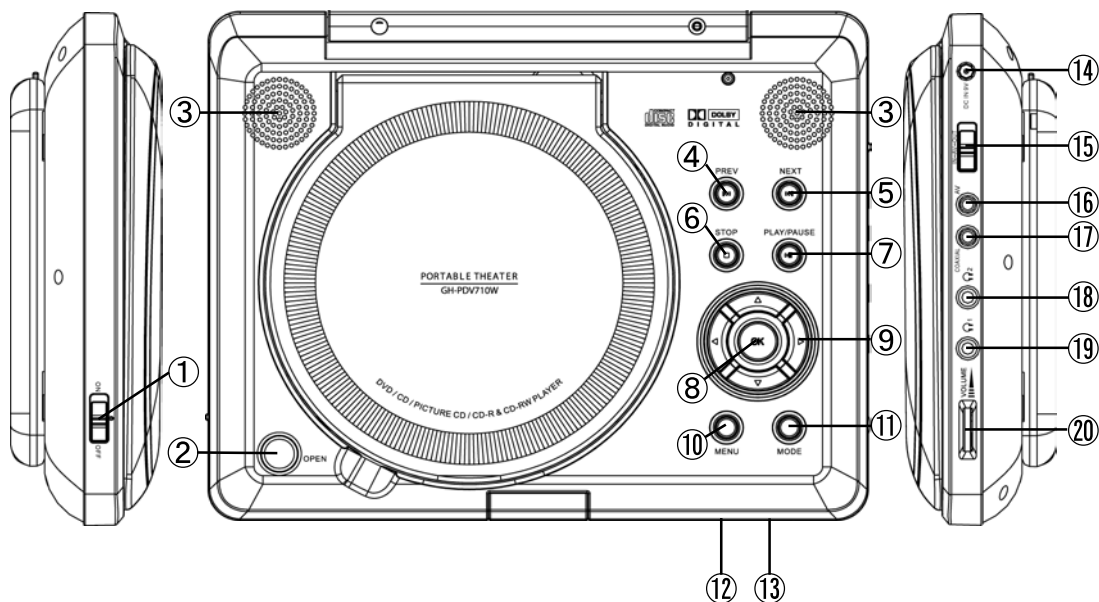
チャプター :タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック :ビデオCD／オーディオCDの内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

本体前面/側面図

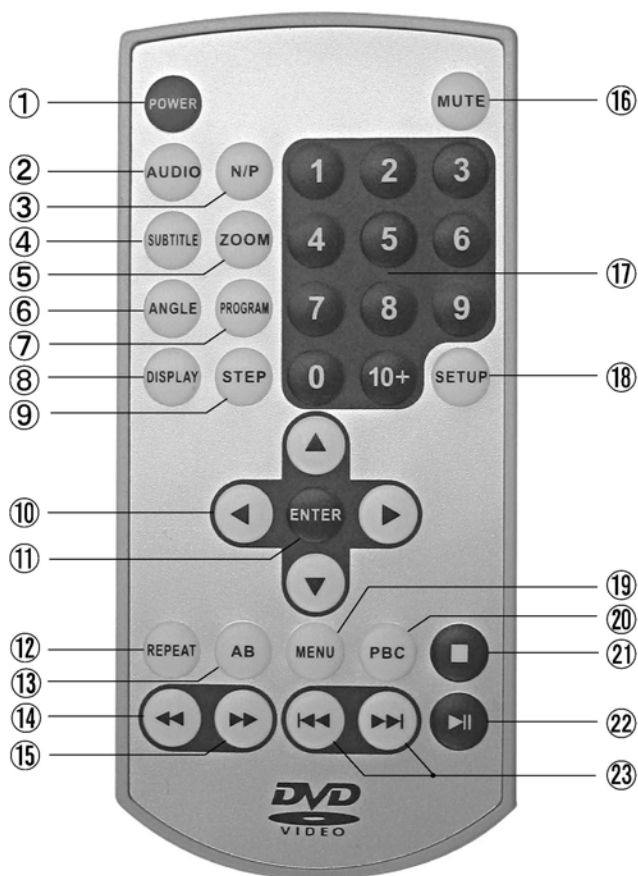


- | | |
|------------------|--------------------|
| ① : 電源スイッチ | ⑪ : モードボタン |
| ② : 開閉ボタン | ⑫ : 電源LED |
| ③ : 本体内蔵スピーカー | ⑬ : リモコン受光部 |
| ④ : スキップ/早送りボタン | ⑭ : 専用ACアダプタ差込口 |
| ⑤ : スキップ/巻戻しボタン | ⑮ : 音声/映像入出力切換スイッチ |
| ⑥ : 停止ボタン | ⑯ : 音声/映像入出力端子 |
| ⑦ : 再生/一時停止ボタン | ⑰ : デジタル音声出力端子 |
| ⑧ : 決定ボタン | ⑱ : ヘッドホン端子2 *1 |
| ⑨ : 上下左右選択ボタン(右) | ⑲ : ヘッドホン端子1 *2 |
| ⑩ : メニューボタン | ⑳ : 音量調節ダイヤル |

*1 ヘッドホン端子2にヘッドホンを接続すると、本体内蔵スピーカーが消音状態となり、ヘッドホンからのみ音声再生されます。

*2 ヘッドホン端子1にヘッドホンを接続した場合は、スピーカーとヘッドホン両方から音声再生されます。

リモコン



- | | |
|------------------|-----------------|
| ① : 電源ボタン | ⑬ : A Bリピートボタン |
| ② : オーディオボタン | ⑭ : 巻戻しボタン |
| ③ : N/Pボタン | ⑮ : 早送りボタン |
| ④ : サブタイトルボタン | ⑯ : ミュート(消音)ボタン |
| ⑤ : ズームボタン | ⑰ : テンキーボタン |
| ⑥ : アングルボタン | ⑱ : セットアップボタン |
| ⑦ : プログラムボタン | ⑲ : メニューボタン |
| ⑧ : ディスプレイボタン | ⑳ : P B Cボタン |
| ⑨ : ステップボタン | ㉑ : 停止ボタン |
| ⑩ : 上下左右選択ボタン(左) | ㉒ : 再生/一時停止ボタン |
| ⑪ : 決定ボタン | ㉓ : スキップボタン |
| ⑫ : リピートボタン | |

基本操作

基本的な DVD ビデオディスク再生手順

1. 付属の専用 AC アダプタを本機に接続し、電源プラグをコンセントに接続します。
2. 本機の電源を入れます。
3. ディスクトレイを開け、DVD ビデオディスクを挿入します。
4. 自動的に再生が開始されます。

基本的には、上記手順のみで DVD ビデオディスクの再生が可能です。
その他の詳細な使用方法につきましては、以下の説明をご確認ください。

電源操作

電源を入れるには



本機横の電源スイッチを ON にします。

リモコンの電源ボタンを押しても、電源を入れることができます。

電源が入ると、本機の電源LEDが点灯し、画面にはDVDのロゴマークが表示されます。

- 本機右側面の音声/映像入出力切換スイッチが「IN」になっていると、画面に何も表示されません。「OUT」にしてください。

電源を切るには



本機横の電源スイッチを OFF にします。

リモコンの電源ボタンを押しても、電源を切ることができます。

本機横の電源スイッチで電源を切ると、本機の電源LEDが消灯します。

- リモコンにて電源の ON/OFF を行なう場合、本機横の電源スイッチが「ON」になっている必要があります。
- リモコンにて電源を切った場合、電源 LED は消灯しません。

ディスクを再生する

1. ディスクトレイを開けます

本機前面の開閉ボタンを押し、ディスクトレイを開けます。

2. ディスクを入れます

再生面を下にして置きます。

3. ディスクトレイを閉めます

開いた蓋をカチッと音がするまで下に押します。自動的にディスクの再生が始まります。

- 本機で再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに置かないでください。
- ディスクトレイを上から強く押さないでください。

再生を止める



本機またはリモコンの停止ボタンを押します。

再生が停止し、DVDのロゴ画面になり「再生ボタンで続きスタート」と表示されます。



本機またはリモコンの再生/一時停止ボタンを押します。

一度だけ停止ボタンを押した状態では、DVDプレーヤーは停止ボタンが押された位置を記憶しています。

ここで再生/一時停止ボタンを押すと、停止した位置から再生が始まります。

ディスクの先頭から再生する



もう一度本機またはリモコンの停止ボタンを押してから、再生/一時停止ボタンを押します。

画面に「(□)」と表示されます。

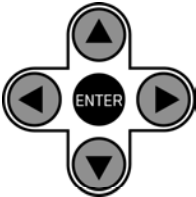
ここで再生/一時停止ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生が始まります。

メニュー画面

メニュー画面が記録されているDVDビデオディスクでは、メニュー画面からタイトルやチャプターを選んで再生したり、音声や字幕の設定ができるものがあります。



リモコンのメニューボタンを押します。
DVDビデオディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。



上下左右選択ボタンで、再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

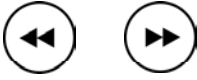


決定ボタンを押します。
選択した項目が決定されます。

- メニューが記録されていないディスクでは、メニュー画面を使った再生はできません。
- 再生すると、はじめにメニュー画面が表示されるディスクもあります。
- この手順は基本的な操作手順です。再生するディスクの記録方式によっては手順が異なりますので、メニュー画面に表示される手順に従ってください。

見たい場面を再生する

早送り/早戻しする

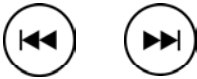


再生中にリモコンの早送り/巻戻しボタンを押すと、早送り/巻戻し再生になります。

ボタンを押すたびに早送り/巻戻しのスピードが変化します。

普通の再生に戻るには、再生/一時停止ボタンを押します。

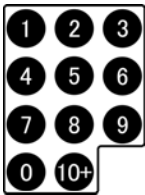
前後のチャプター/トラックへ



再生中にリモコンのスキップボタンを押すと、前後のチャプター/トラックを選択できます。

番号を使ってサーチ再生する

チャプターを指定して頭出しすることができます。



リモコンのテンキーボタンで目的のチャプター番号を押すと、その番号のチャプターから再生されます。

この時画面上部に下記のように「タイトル」、「チャプター」が表示され、目的のチャプター番号が「チャプター」の次に表示されます。

タイトル 03/30 チャプター_05/17

(これは表示例です。実際に表示されるタイトル数、チャプター数はディスクにより異なります。)

「10+」のテンキーボタンを押した場合は、すぐに再生が始まりません。番号を入力し終わると再生が始まります。

- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトルサーチはできません。
チャプター番号のみをいれてください。

便利な再生機能

コマ送り再生



再生中にリモコンのステップボタンを押すと、再生一時停止状態となります。
ボタンを押すたびにコマ送り再生となります。

ズーム再生



再生中にリモコンのズームボタンを押すと、ズーム再生になります。
ボタンを押すたびに倍率が変わります。
ズーム再生中は、上下左右選択ボタンでズームする場所を移動することができます。

- ディスクによってはズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。

リピート再生

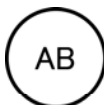


リモコンのリピートボタンを押すたびに、「チャプター」「タイトル」「オール」の切り換えができます。「オール」の設定の時に、もう一度リピートボタンを押すと、リピート再生を解除します。

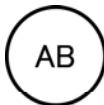
「チャプター」	現在のチャプターを繰り返し再生します。 チャプターの最後まで来ると、チャプターの先頭から再生が始まります。
「タイトル」	現在のタイトルを繰り返し再生します。 タイトルの最後まで来ると、タイトルの先頭から再生が始まります。
「オール」	タイトル、チャプターに関係なく、ディスク全体を繰り返し再生します。

A-Bリピート再生

好みの2点間を指定して繰り返し再生することができます。



再生中にリモコンのABリピートボタンを押すと、A点が設定されます。



続けて再度リモコンのABリピートボタンを押すと、B点が設定され、A点とB点の間を繰り返し再生します。

普通の再生に戻るには、もう一度 AB リピートボタンを押してください。

●A-Bリピート再生は、ビデオCD、オーディオCDでは同一のトラック内でのみ使用できます。

プログラム再生

好みの順にタイトル、チャプターをプログラムして再生することができます。



リモコンのプログラムボタンを押します。

画面中央に下記のように表示されます。

①:タイトル番号 ②:チャプター番号

プログラム:タイトル(04)/チャプター(--)					
1	TT:02	CH:04	6	TT:	CH:
2	TT:	CH:	7	TT:	CH:
3	TT:	CH:	8	TT:	CH:
4	TT:	CH:	9	TT:	CH:
5	TT:	CH:	10	TT:	CH:
		終了	スタート	次のページ	

③:再生順序

④:この画面を消す ⑤:プログラム再生を開始 ⑥:次のページへ

- | | |
|---------|--------------------|
| ①:タイトル | タイトル番号を表示しています。 |
| ②:チャプター | チャプター番号を表示しています。 |
| ③:枠内の数字 | 再生される順序を表示しています。 |
| ④:終了 | この画面を消し、通常再生に戻ります。 |
| ⑤:スタート | プログラム再生を開始します。 |
| ⑥:次のページ | 次のページを表示します。 |

1. 左右選択ボタンで入力する場所を選択し、テンキーボタンで①に表示されている範囲の数字でタイトル番号を入力します。

タイトル(04)/チャプター(--)

2. タイトル番号を入力すると、そのタイトル内にあるすべてのチャプターの数が②に表示されます。
再生したいチャプター番号を入力します。



3. 希望のチャプター番号をすべて入力したら、⑤の「スタート」を選択し、リモコンの決定ボタンを押します。
プログラムされた順序通りに再生が開始されます。
4. プログラム再生中に再度リモコンのプログラムボタンを押すと、⑤の「スタート」が「停止」に変わります。
プログラム再生を停止したい場合には、「停止」を選択し、プログラム再生を停止させてください。



⑦: プログラム再生を停止

- ディスクによっては、タイトルが記録されていないディスクがあります。
チャプターのみでご使用ください(画面表示が変わる場合があります)。

再生中の情報を表示する

再生中のディスク情報や、設定状況を画面に表示させて確認できます。



再生中、リモコンのディスプレイボタンを押します。

画面上部に下記のように表示されます。

TT 01/04	CH 05/17	0:11:23
タイトル番号	チャプター番号	再生時間

ディスク情報が表示されている状態でリモコンのディスプレイボタンを押すと、「タイトル再生時間」→「タイトル残り時間」→「チャプター再生時間」→「チャプター残り時間」→「表示なし」の順番に表示が切り換わります。

- ディスクの状態によっては、時間等が正常に表示されない場合があります。

音声を切り換える

複数の音声が記録されているディスクでは、音声を切り換えることができます。



再生中、リモコンのオーディオボタンを押します。
ボタンを押すたびに、再生される音声が切り換わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り換える場合があります。
- 一つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。

字幕を切り換える

字幕が記録されているディスクでは、字幕の表示／非表示を切り換えられます。
複数の字幕が記録されているディスクでは、字幕を切り換えることができます。



再生中にリモコンのサブタイトルボタンを押すと、表示される字幕が切り換わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り換える場合があります。
- 字幕が記録されていないディスクや、一つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り換えはできません。

アングルを切り換える

複数アングルが記録されているディスクでは、アングルを切り換えることができます。



再生中にリモコンのアングルボタンを押すと、再生されるアングルが切り換わります。

- ディスクによっては、メニュー画面を使ってアングルを切り換える場合があります。
- 一つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り換えはできません。

ミュート(消音)状態にする



再生中、リモコンのミュートボタンを押します。
画面下部に「ミュート」と表示され、消音状態となります。
消音状態を解除するには、もう一度ミュートボタンを押します。

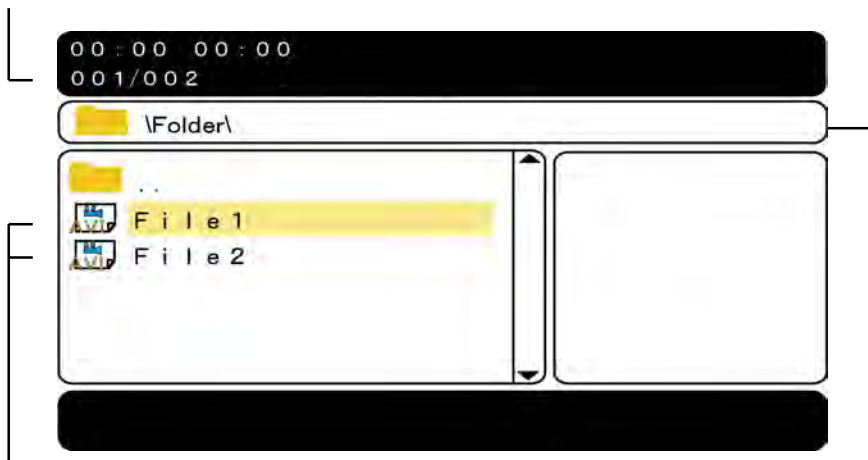
動画ファイルの再生

動画ファイルの再生

本機では、Mpeg-1 や Mpeg4v3 などのフォーマット形式の動画ファイルを再生することが出来ます。対応フォーマット形式の動画ファイルが収録されたディスクを挿入すると、下図のメニュー画面が表示されます。

① : タイトル番号/総タイトル数

② : フォルダ名



③ : ファイル名

上下左右選択ボタンで再生したいファイルを選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押してください。再生が始まります。

再生中は停止ボタン、またはメニューボタンを押す事で、上図のメニュー画面に戻る事が出来ます。

- 対応フォーマットの形式に関しては、P.51「仕様」のページをご覧ください。

記載されていないファイルフォーマットに関しては、対応外となります。

- 動画ファイル再生時は、停止ボタンを押した位置を記憶しません。再生を停止すると、次に再生する際はファイルの先頭からの再生となります。

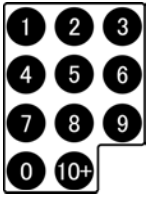
- 表示可能なファイル名は半角英数のみとなります。

日本語ファイル名は正常表示されませんのでご注意ください。

動画ファイル再生時の操作

テンキーボタンを使って指定したファイルを再生する

タイトル番号を指定して頭出しすることができます。メニュー画面、ファイル再生中のどちらの状態でも実行可能です。



リモコンのテンキーボタンで目的のタイトル番号を押します。

この時画面上部に「SELECT N」と表示されるので、決定ボタンを押して決定してください。

●テンキーの「10+」ボタンは機能しません。

リピート再生



再生中、リモコンのリピートボタンを押すたびに、「MP3 Shuffle」「MP3 Random」「シングル」「Repeat One」「Repeat All」「リピート オフ」の切り換えができます。

経過時間/残り時間の表示

再生中のファイルの経過時間や、残り時間を画面に表示させて確認できます。



再生中、リモコンのディスプレイボタンを押します。

画面上部に下記のように、現在再生しているファイルの経過時間が表示されます。

シングル再生時間

0 : 00 : 00

経過時間が表示されている状態で再度リモコンのディスプレイボタンを押すと、「シングル残り時間」→「表示なし」の順番に表示が切り換わります。

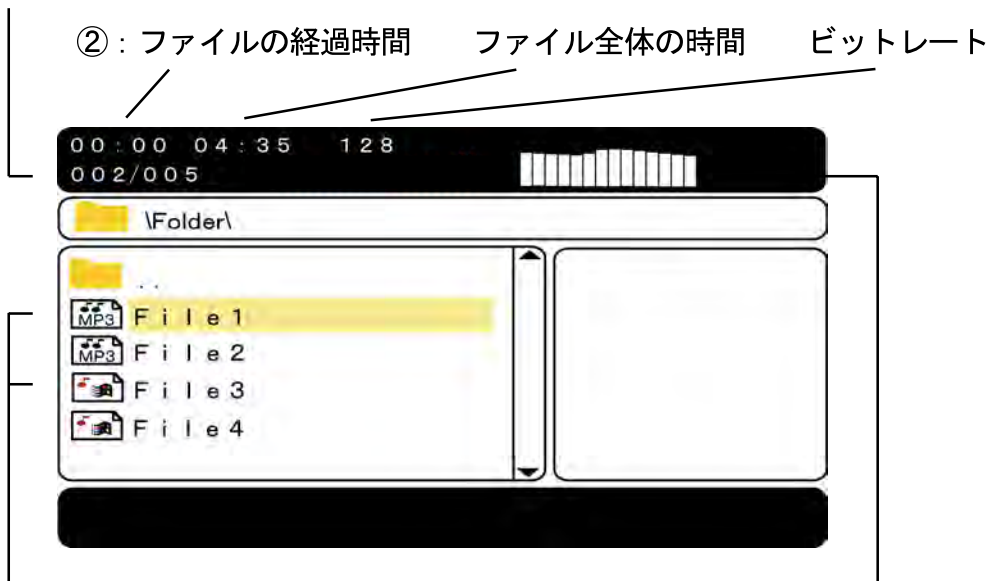
- ディスクの状態およびファイルの状態によっては、時間等が正常に表示されない場合があります。

音楽ファイルの再生

音楽ファイルの再生

本機では、MP3フォーマットやWMAフォーマットの音楽ファイルを再生することが出来ます。対応フォーマット形式の音楽ファイルが収録されたディスクを挿入すると、下図のメニュー画面が表示されます。

①：ファイル番号/総ファイル数



③：ファイルフォーマットアイコン ④：スペクトラムアナライザー表示

上下左右選択ボタンで再生したいファイルを選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押してください。再生が始まります。

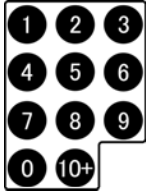
再生中は停止ボタン、またはメニューボタンを押す事で、上図のメニュー画面に戻る事が出来ます。

- MP3、WMA フォーマット以外の音楽ファイルには対応していません。
- 再生可能ビットレートは、MP3(32～320kbps)、WMA(64～192kbps)となります。

音楽ファイル再生時の操作

テンキーボタンを使って指定したファイルを再生する

タイトル番号を指定して頭出しすることができます。



リモコンのテンキーボタンで目的のタイトル番号を押します。

この時画面上部のファイル番号の項目に、「SELECT」と表示されるので、決定ボタンを押して決定してください。

●テンキーの「0」及び「10+」ボタンは機能しません。

リピート再生



リモコンのリピートボタンを押すたびに、「MP3 Shuffle」「MP3 Random」「シングル」「シングルリピート」「フォルダーリピート」「フォルダー再生」の切り換えができます。

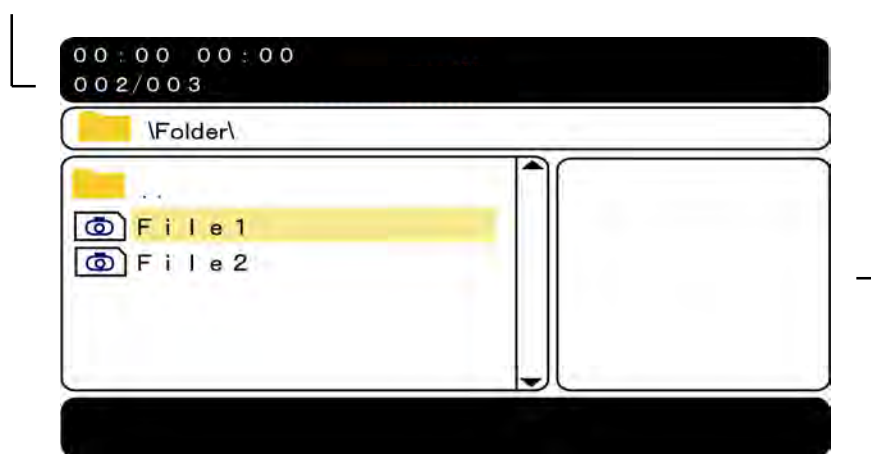
画像ファイルの表示

画像ファイルの表示

本機では、jpeg 形式の画像ファイルを表示することが出来ます。対応形式の画像ファイルが収録されたディスクを挿入すると、下図のメニュー画面が表示されます。

①：ファイル番号/総ファイル数

②：プレビューウィンドウ



上下左右選択ボタンで表示したいファイルを選び、決定ボタンまたは再生/一時停止ボタンを押してください。ディスクまたはフォルダ内の画像が、順番に切り換わって表示されます。

表示中にリモコンのメニューボタンを押す事で、上図のメニュー画面へ戻る事が出来ます。

停止ボタンを押すと、ディスク内の jpeg ファイルを縮小して一覧表示するサムネイル画面になります。

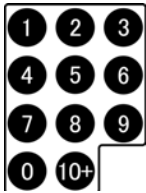
サムネイル画面で「Slide Show」を選択すると、再び画像が順番に表示されます。また、「Menu」を選択するとボタンの操作説明が表示されます。「◀Prev」「Next▶」は、それぞれページ単位でサムネイル画面を切り換えます。リモコンのスキップボタンと同じ働きをします。

●jpeg 形式以外の画像ファイルには対応していません。

画像ファイル表示時の操作

テンキーボタンを使って指定したファイルを表示する

ファイル番号を指定して表示することができます。メニュー画面、画像表示中のどちらの状態でも実行可能です。



リモコンのテンキーボタンで目的のファイル番号を押します。

この時画面上部のファイル番号の項目に、「SELECT N」と表示されるので、決定ボタンを押して決定してください。

●テンキーの「0」及び「10+」ボタンは機能しません。

表示されている画像を回転させる



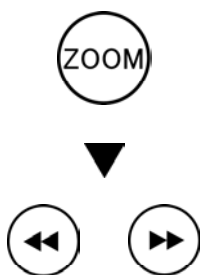
画像表示中に上下左右選択ボタンを押すと、「ROTATING」と表示され画像が回転又は反転して表示されます。

リピート表示



画像表示中、リモコンの REPEAT ボタンを押すたびに、「MP3 Shuffle」「MP3 Random」「シングル」「Repeat One」「Repeat All」「リピートオフ」の切り換えができます。

ズーム表示



画像表示中にリモコンのズームボタンを押すと、画面上に「ズーム」と表示されます。この時リモコンの早送り、巻戻しボタンを押すと倍率が変わります。

ズーム再生中は、方向ボタンでズームする場所を移動することができます。

再びズームボタンを押すとズーム表示を解除できます。

画像切替時の効果を変更する



画像表示中にリモコンのプログラムボタンを押すたびに、画像切替時の画面効果を変更することができます。

●画像ファイルによっては機能しないことがあります。

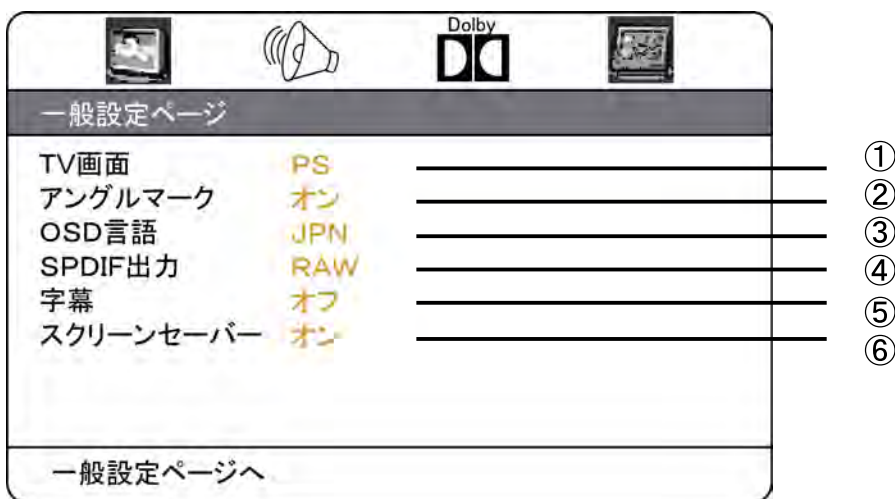
セットアップ画面の操作

本機の設定を変更するには、セットアップ画面で設定します。



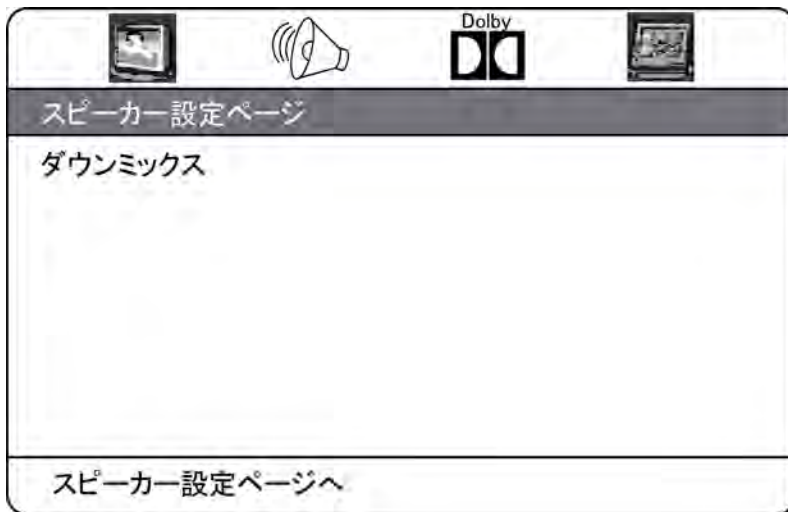
リモコンのセットアップボタンを押します。
画面中央に下記のように表示されます。

一般設定ページ



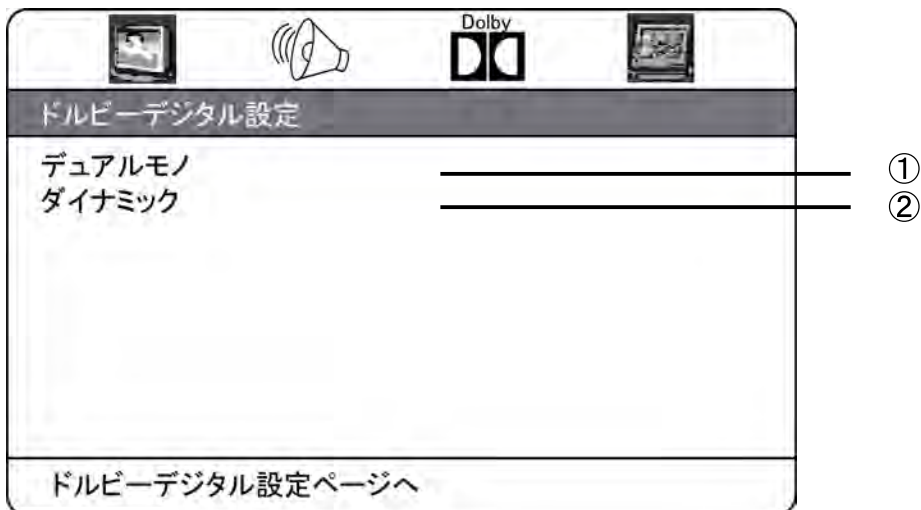
- ①: TV画面 画面の表示サイズを変更します。
ノーマル/PS、ノーマル/LB、ワイドの中から選択できます。
- ②: アングルマーク オンにするとマルチアングルが可能なときアングルマークが表示されます。
- ③: OSD 言語 OSD メニューの使用言語を変更します。
英語と日本語から選択できます。
- ④: SPDIF 出力 デジタル音声出力を設定します。SPDIF/オフ、SPDIF/RAW、SPDIF/PCM から選択できます。
- ⑤: 字幕 字幕の表示、非表示を設定できます。
DVD ビデオディスクの設定が優先されます。
- ⑥: スクリーンセーバー スクリーンセーバーを使用するか否か、選択できます。
通常はオンにしてご使用ください。

スピーカー設定ページ



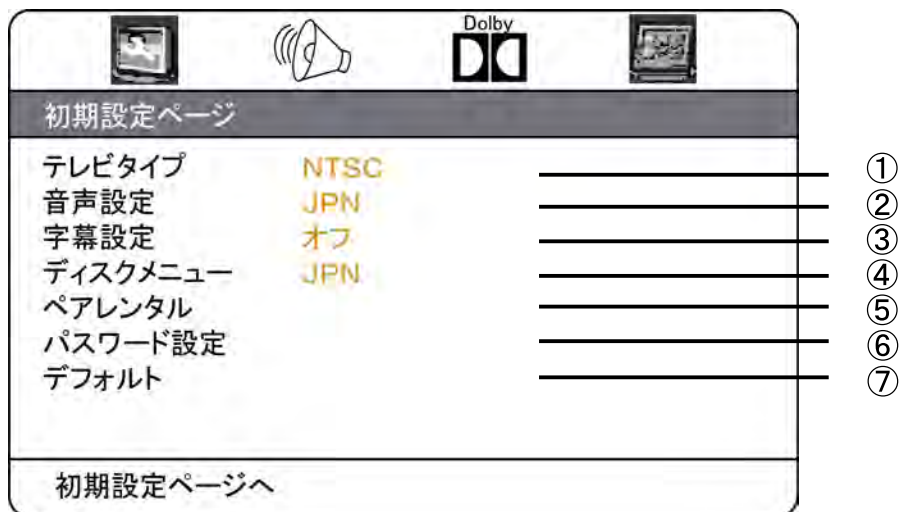
スピーカーの設定を行います。「LT/RT」と「ステレオ」のどちらかを選択できます。

ドルビーデジタル設定ページ



- ①: デュアルモノ デュアルモノラル設定を行います。「ステレオ」、「左モノラル」、「右モノラル」、「ミックスモノラル」の中から選択できます。
- ②: ダイナミック ダイナミックレンジを設定します。「FULL」、「3/4」、「1/2」、「1/4」、「OFF」の中から選択できます。

初期設定ページ



- ①: テレビタイプ 信号方式を変更します。
PAL、NTSC から選択できますが、NTSC のみご使用ください。
- ②: 音声設定 音声言語を変更できます。
- ③: 字幕設定 字幕言語を変更できます。
- ④: ディスクメニュー ディスクメニュー言語を変更できます。
- ⑤: ペアレンタル 視聴制限を変更できます。
- ⑥: パスワード変更 本機にパスワードを設定することができます。
パスワードの初期値は「1369」です。
- ⑦: デフォルト 本機の設定を工場出荷状態に戻します。

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語になります。
- ディスクによっては、メニュー画面を使って言語を選ぶようになっている場合があります。

画面設定

画面の明るさやコントラスト、画面サイズなどの設定ができます。

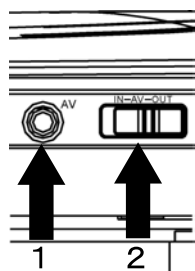


本機のモードボタンを押すたびに、「Brightness」「Contrast」「Hue」「Screen Mode」の順番で、設定項目が切り換わります。本機の上下左右選択ボタンの左右を押して設定値を変更してください。

音声/映像入出力

付属の音声/映像入出力用専用ケーブルを利用して、本機の映像をテレビなどに出力したり、他の AV 機器からの映像を本機に入力したりすることができます。

音声/映像出力



1. 本機の電源を OFF 状態にして、本機右側面の「AV」の記載がある挿入口に、付属の音声/映像入出力用専用ケーブルを接続します。
2. 本機右側面の音声/映像入出力切換スイッチを「OUT」にして音声/映像入出力用専用ケーブルの三本の端子をテレビなどの受像装置に接続します。

この状態で本機の電源を ON 状態にすると、本機の音声/映像が接続した受像装置に出力されます。

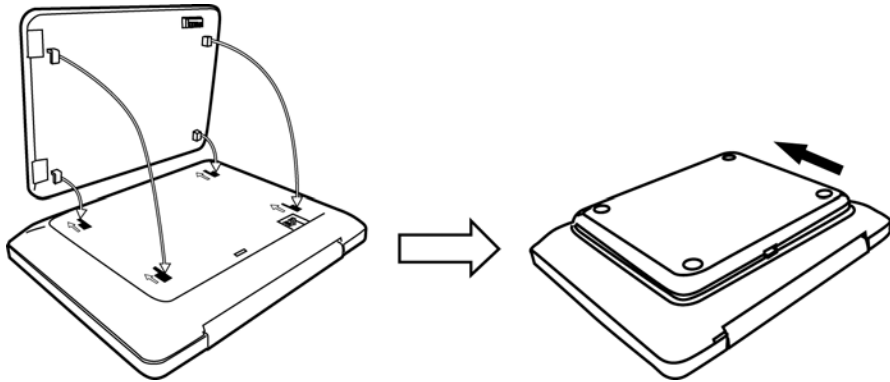
※2の切換スイッチを「AV-IN」の状態にすると正常に映像が表示されません。

音声/映像入力

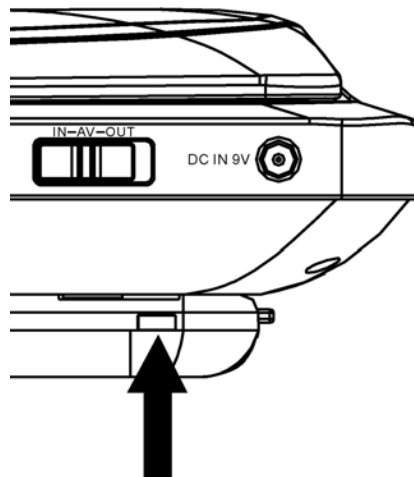
出力同様に、本機の電源 OFF 状態で音声/映像入出力用専用ケーブルを接続し、音声/映像入出力切換スイッチを「IN」にして、音声/映像入出力用専用ケーブルを他 AV 機器と接続します。この状態で本機の電源を ON 状態にすると、他 AV 機器の音声/映像が本機に入力されます。

バッテリーパックの使用方法

付属の専用バッテリーパックは、下図のように本機裏面へ装着した後、矢印方向へカチッと音がするまでスライドさせます。



本機右側面の「DC IN 9V」の記載がある挿入口に専用ACアダプタを接続します。接続すると下図矢印部分のLEDが赤色点灯し、充電が開始されます。バッテリーパックの充電が完了すると緑色点灯に変わります。



充電を開始してから約3時間から4時間程度でフル充電状態となります。再生するディスク、使用状態により異なりますが、フル充電状態から約3時間ほど、使用することができます。

※ディスクを再生しながら充電する場合、非常に時間がかかります。

故障かな？と思ったら

電源が入らない

- 電源コードをコンセントへしっかりと差し込んでください。
- 専用バッテリーの接続を再確認してください。

映像が映らない

- 電源は入っていますか？
- セットアップ画面の「テレビタイプ」が「PAL」になっていませんか？
- 本機右側面の音声/映像入出力切換スイッチが「IN」になっていませんか？

再生できない

- 本機で再生できるディスクか確認してください。
- DVDディスクはリージョン番号を確認してください。本機のリージョン番号は「2」です。
- ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。
- ディスクはラベル面を上正しくセットしてください。
- ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。
- 寒いところから急に暖かいところを持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。
- セットアップ画面の「初期設定ページ」の設定を確認してください。

映像が白黒になる

- セットアップ画面の「テレビタイプ」を確認してください。
- ディスクの映像タイプを確認してください。

映像が乱れる

- ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。
- スキップ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。

音が出ない

- 本体、リモコンの音量レベルを確認してください。
- 静止画、ステップ、スロー再生中は音は出ません。
- セットアップ画面の設定を確認してください。

リモコンがきかない

- 電池の＋、－の向きを確認してください。
- 電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。
- リモコンを本機の受信部に向けて操作してください。
- リモコンと受信部の間の障害物を取り除いてください。

字幕言語が
切り換えられない

- 字幕の入っていないディスクでは切り換えできません。
- 複数の字幕の入っていないディスクでは切り換えできません。
- サブタイトルボタンで切り換えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り換えできる場合があります。

字幕が出ない

- 字幕の入っていないディスクでは字幕は表示されません。
- 字幕が「オフ」になっている場合は、サブタイトルボタンで切り換えてください。

音声言語が
切り換えられない

- 複数の音声の入っていないディスクでは切り換えできません。
- オーディオボタンで切り換えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り換えできる場合があります。

アングルを変えて
見ることができない

- 複数のアングルの入っていないディスクでは切り換えできません。
- 複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えできます。

4:3 で収録された
映像を、4:3 で見る
ことができない

- 本機モードボタンの「Screen Mode」より表示画面サイズを「16:9」から「4:3」に変更してください。

パスワードを忘れた

- セットアップ画面の「初期設定ページ」から「デフォルト」を選択し、工場出荷時の設定に戻してください。

すべての設定を
初期設定に戻したい

- セットアップ画面の「初期設定ページ」から「デフォルト」を選択し、工場出荷時の設定に戻してください。

仕様

製品型番	GH-PDV710W	
スクリーン	7 型ワイド TFT 液晶(16:9)	
再生可能ディスク	DVDビデオ/ビデオ CD/オーディオ CD/CD-R/CD-RW/DVD±R/DVD±RW	
再生可能フォーマット	MPEG-1/MPEG2/MPEG4v3/DivX®/XviD/MP3/WMA/jpeg	
信号方式	NTSC/PAL	
音声周波数特性	20Hz~20KHz ±5dB	
S/N 比	80dB 以上	
ダイナミックレンジ	85dB 以上	
電源	9V/2A(AC アダプタより給電)	
バッテリー	Li-Polymer バッテリ	
電池再生時間	約 3 時間 *	
電池充電時間	約 4 時間~5 時間	
消費電力	最大 10W	
動作温度範囲	0℃~45℃	
動作湿度範囲	10~90%(結露なきこと)	
外形寸法	W 210.0 x D 165.0 x H 37.5 (mm)	
重量	約 750g(本体のみ)	
製品構成	<ul style="list-style-type: none"> ・GH-PDV710W 本体 ・カード型リモコン ・リモコン用電池 ・専用 AC アダプタ ・専用バッテリーパック 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声/映像入出力用専用ケーブル ・専用カーシガレットアダプタ(12V車専用) ・専用キャリングバック ・取扱説明書(本書) ・1年間保証書




DivX®認証プログラム取得 [DivX®Certification]
 高画質で高圧縮の動画ファイル化が可能な DivX®形式のあらゆるファイルに対応します。

*連続再生時間は目安であり、使用条件、バッテリーパックの状態、などの影響で異なります。

仕様および本機のデザインは、改良のため予告なしに変更することがあります。

故障修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサービス窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス ホームシアターカスタマサポート
URL	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-5749（ホームシアターシステム専用）
受付時間	10:00～12:00／13:00～17:00（弊社営業日のみ）
FAX	03-5421-2266（24時間受付）
E-Mail	support@green-house.co.jp（24時間受付）
住所	〒153-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-20-22 三富ビル4階

カスタマサポートダイヤルの時間は、予告なく変更する場合があります。ご確認はホームページにてお願い致します。

- ◆本書の内容の一部又は全部を無断転載することは固くお断り致します。
- ◆本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- ◆本書に記載した会社名・商品名は、各社の商標又は登録商標です。
- ◆本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載漏れ等お気づきの点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- ◆乱丁、落丁はお取替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

